

# 荻本研究室

## [次世代のエネルギー/電力システムを拓く]

生産技術研究所 エネルギー工学連携研究センター

Collaborative Research Center for Energy Engineering

<http://www.ogimotolab.iis.u-tokyo.ac.jp/>

エネルギーシステムインテグレーション学

電気系工学専攻

社会経済活動の基盤となるエネルギーインフラには、安定性、経済性、低炭素化を含む環境性などの一層の持続可能性が求められている。これらの実現には、電気自動車、ヒートポンプ給湯機などの導入による省エネや、太陽光発電や風力発電などの導入による創エネが期待されており、エネルギー/電力システムは新しい時代を担うべく新しい需給構造への移行、“インテグレーション”が必要である。

このインテグレーションでは、新しい視点である分散エネルギーマネジメントにより、需要側がシステム全体の需給調整に貢献することで、太陽光発電や風力発電の出力変動への対応、新たな需要への安定供給など実現しつつ、エネルギーシステム全体として運用とシステム構成の柔軟性を向上し、様々なリスクに対するロバスト性の向上を目指している。

## 次世代エネルギーシステム

Next Generation Energy System

エネルギー問題は、革新的な技術の開発や導入・普及の見通し、社会経済変化、それらを支える制度などを組み合わせた長期の取り組みを必要とする。エネルギーシステムインテグレーションの研究では、個別技術評価、シミュレーション、最適化、シナリオ分析、戦略策定などの手法を組み合わせ、以下の研究を行っている。

- ◆ エネルギー技術戦略
- ◆ 動的エネルギー需給解析・評価
- ◆ 再生可能エネルギーの変動分析
- ◆ 発電機起動停止計画

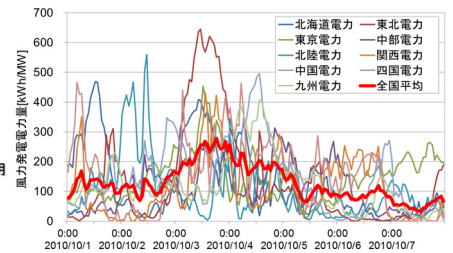


図. 風力発電電力量の変動例

## 分散エネルギーマネジメントシステム

Decentralized Energy Management System

将来、太陽光発電や風力発電などの出力が天候により大きく変動する電源が大規模に導入された場合、電力システム側における蓄電システム等に加えて、住宅、オフィスビル、更には電気自動車など移動体を含めた分散型のエネルギーマネジメントによる電力需給バランス調整力の確保が期待されている。

分散エネルギーマネジメントでは、住環境や働環境の快適性を維持した上で設備機器を最適に運用することで、住宅・オフィスの省エネや電気料金の節約だけではなく、エネルギー/電力システム全体の需給に貢献できるシステムの構築を目指している。

実システムのパフォーマンスに大きな影響を持つ、マネジメントサービスのアグリゲーションなどについても検討している。

- ◆ 家庭内機器の最適運転計画
- ◆ 分散エネルギーマネジメントのシミュレーションモデル開発とCOMMAハウスでの実証試験
- ◆ 分散エネルギーシステムの設備管理手法の開発

